令和3年度原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金を活用した事業概要の公表について

(自治体名:) 宮城県 石巻市

道県又は市町村	事業主体	交付金事業の名称	交付金事業の概要	総事業費	交付金充当額	交付金事業の実施場所	備考
石巻市	石巻市	石巻市雄勝診療所運営事業	市立雄勝診療所運営に係る経費のうち、同診療所に勤務する正規職員の人件費に充当	16,469,245	7,873,000	雄勝町小島	
石巻市	石巻市	石巻市立雄勝保育所運営事業	市立雄勝保育所運営に係る経費のうち、同保育所に勤務する正規職員の人件費に充当	26,079,140	7,873,000	雄勝町小島	
石巻市	石巻市		市立牡鹿地区保育所運営に係る経費のうち、同保育所に勤務する正規職員の人 件費に充当	33,135,109	15,746,000	鮎川浜清崎山	

別紙

I 事業評価総括表(令和 3 年度)

(単位:円)

_	于 人口	旧套 (1)相 0 1及)				(=	十 <u>1元 · 1 1/1</u>
	番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
	1	地域活性化措置	雄勝診療所運営事業	石巻市	16, 469, 245	7, 873, 000	
	2	地域活性化措置	石巻市立雄勝保育所運営事業	石巻市	26, 079, 140	7, 873, 000	
	3	地域活性化措置	石巻市立牡鹿地区保育所運営事業	石巻市	33, 135, 109	15, 746, 000	

(注) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ 事業評価個表(令和 3 年度)

7 /KHI		24 (14 15	+#+	/X/	22.	E7			*	<i>L</i> L		vir	र्भार	<i>T</i>	Et	14-				
番			措	<u>I</u>	置	名			交	付	金	事	業	の	名	称				
1		地域活性化							所運営事業											
交付:	金事	業者名	又は	間接	交付	金 事 業	者 名	石巻市												
交 付			夷 施					字和田12	3											
		-tr - 3116																		
交付	金	事 業	の	概	安 官	'埋連宮實	(診療)		費4名分)											
政策		に関係する 施 策 と 開 好	₹ 0	年	要標を使する	療所とし 良質な医 命です。 日本大震 療所の管	て、地原の提供 原の提供 によ 理運営	域に密着し 共を行うこ り地区人口 費へ交付金	大震災により た一次医療サ とは、地域住 が1/3以下 が充当さ療等を 令系	ービス 民が安 に激減 ことに	を提供してらしてらい しょり は しょう しょう かい しょり は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	おり、その していくた の運営は非 所運営の安	存続が ために ま常に が ま定と また また が	不可欠で ででなこと でい状況 でいれ、	す。地域(であり、 でありま にありま 医療体制	主民の医療不 当診療所の界 け。このこと を将来的にお	で 安の解消 見たすべき こから、当 ったり存続			
7 1	791	[H] V> F	K /L	~=	ш			Ei .		1. 田 1. 田 1.		1		単位	評価	午座	令和3年度			
					環区	区住民が 境と医療 る。	安心し	* て暮らせる スの向上を 者への往診		成果指標		成果実統	績	毕业	人	干皮	3,791			
				と ひ 実	計画的在學人 慢性疾患, 施設入所 施	宅医療(患者の) 者への	の実施 療養指導及 訪問診療を	外来(予防を含む)・ に即した一 延患者数。	訪問診療	等の地域	目標値			人		3, 240				
交付名	*重業	の成果目標	北里宝	护搏	予防等及		診断など疾 衛生との連				達成度	Ē		%		117				
XIII	ムザボ	· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	(X U)	从不大	小貝 ——	評価年度の設定理由														
					午	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。														
					14,	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業夫施翌年度早期に評価を実施。 交付金事業の定性的な成果及び評価等														
					者 の	受用金事業の定任的な成本及び計画等 診療所の維持運営に係る経費のうち、同診療所に勤務する正規職員の人件費へ交付金を充当することにより、医療従事 者を確保し診療所運営体制の確立と地域に密着した医療サービスを提供することができました。成果目標である外来等 の患者数の充足率が100%を上回った理由としては、新型コロナウイルスワクチン接種により延べ患者数が増加したため です。														
					\vdash	評価に係る第三者機関等の活用の有無														
					<u> </u>				ī	171四(~17		媛渕寺の店) エ	カツ付き	***						
								>~ =	54. +152. +mi		#	1111		兴仕	ムチューケュ	ニ ムモッケッ	S ATROPE			
					<u> </u>				動指標			741-1-7	±:	単位			令和3年度			
交付金	李事業	の活動指標	及び	舌動宝	a	勝診療所	に勤務・	する職員の	雇用量			活動実統		人月						
~134	- 1· /K	- 1H 5941H/A	.,~ 0 1					×雇用期間				活動見		人月	4	_				
						VE/11/15/X		· /E/ [1791]F.				達成度	F .	%	10	0 100	100			
交 付	金 事	業の 総	事	業費	等			令和元年度	E		令和2年度			令和3年		備考				
	総	事	業		費			15, 705, 91	3	1	6, 575, 096			16, 469,	245	-				
		付 うち文	充 部科学	当学省分	額			10, 497, 25	0		9, 185, 000			7, 873,	000					
		うち経						10, 497, 25	0		9, 185, 000			7, 873,	000					
交 付	金 事	業の契			要			. ,												
^`''r	T	契約			^	型 紗	りのナ	7 注	与	2 約	0	相 手	方			契約金	・貊			
-	人件費		-/ H	нЛ		雇用	·3 ·4/ /.		勝診療所人件	· // •		1H T	//				16, 469, 245			
F	八十月	t .				准用		水田	财矽源別八针	貝生和	/J				_		10, 400, 440			
															_		16 460 845			
		事業の	Jm V	/ ≥m	- ا جام	· 44 + - 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1	마시 글스 나는		+								16, 469, 245			
J- / I				≠#I	ズレケ	1名111///#	幣診療	4Л												

(注) (1) 事業ごとに作成すること。

交付金事業の評価課室石巻市立雄勝診療所

- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の 定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
 - なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
 - なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果 実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載 すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を,交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業 実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

Ⅱ 事業評価個表(令和 3 年度)

事業評価個表	長(令和		:度)														
番号		措	置	名		交	寸 金	事	業	の	名	称					
2	地域活性	生化措置			石巻市立雄	勝保育所運営事業	5										
交付金事	業者名	了又は	間接交	付金事業者名	石巻市												
交付金	事 業	実 施	i 場 所	石巻市雄勝町小島	字和田12	3											
交 付 金	事	業の	概 要	年6月~令和4年3月)の人件費 化の進展、 た保育サー となります	は働き世帯の増加 ごスを提供するか び、本保育所の運	や就労時間の が大きな課題 営費へ交付金	多様化など となってい が充当され	、子育で ます。 伊 ることに	で取り 保育児童 は、保育	巻く環境が の受入拡大 運営の安定	日々変化し のためにに 化が図られ	していく は保育士の いるととも				
交付金事業に 政 策 · 加				1 子育てを	施計画(令記録を記述された。 一子どもを産 一子ともを産 で支援する環 や乳児保育を でスの充実し	和元年度~令和3年 せるまち み育てられる支援 境を整備する 等、保育のさらな こ努めます。	体制を確立す	、多様な就			者のニーズ	に対応し、	安心して				
事 業	開	始	年 度			令和元年	事業終	了(予定)4	年度				令和3年度				
事 業 期	間の	設定	? 理 由	石巻市総合計画実施	施計画(令	n元年度~令和3年	度)の終期	まで	i i								
3 /10 ///	1.4	, , , c		成果目標		成果指		1		単位	評価年	度	令和3年度				
				7-AZIK II V.	I.	/4/V/K11	1/1	成果実績	吉	712	%	, <u> </u>	60				
				伊女田の大日本100	20/	保育児の充足率:	目標値			%		100					
				保育児の充足率100	770	入所者数÷定員>	7										
							達成度			%		60					
				評価年度の設定理由													
				毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。													
				交付金事業の定性的な成果及び評価等													
交付金事業6	の成果目	標及び	成果実績	保育所の運営に係る経費のうち、同保育所に勤務する正規職員の人件費(賃金)へ交付金を充当することにより、保育士確保による安全な保育体制の確立と子どもの健全育成、共働き世帯の就労支援、就労機会拡大等を図ることができました。さらに、保育所が地域との交流を図ることにより、子育てを地域で支援する意識の向上にも寄与できました。しかしながら、市全体では待機児童は解消できていないことから、今後も待機児童ゼロに向けた施策展開に努めていきます。成果目標である保育児の充足率の達成度が100%を下回った理由としては、保育士確保状況により定員一杯までの受入れが出来ない場合や申込み児童が少なかったためです。													
					評価に係る第三者機関等の活用の有無												
						F. IM(<u> </u>	14.200								
					活動	指標	,			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
						041		活動実績		人月	50	60					
交付金事業の	の活動指	標及び	活動実績	保育士・用務員の				活動見込		人月	50	60					
				(雇用人数(人)	×雇用期間	(月))					100	100					
+ / 	세4 ·~	60 de	세스 대 사나		ヘモーケナ		人车。左上	達成度		% A Fro /7			93				
交付金事					令和元年度		令和2年度			令和3年		備考					
総	事	業			18, 057, 890		23, 258, 729			26, 079,							
交	寸 金	充	当 額	1	10, 497, 250		9, 185, 000]		7, 873, 0	000						
[うち	文部科4	学省分														
1 1 1	うち	経済産	堂省分		10, 497, 250		9, 185, 000			7, 873, 0	000						
交付金事					,,	1	0, 100, 000	l		., ., ., .	×						
人 川 亚 尹					÷ 34-	契	\$4 D	相手	+-			± 7 6/5 △	. 烟				
/D = /		りの目		契約の力			約 の	相手	方			契約金					
保育士	・用務員	貝人件費	Ť	雇用	保証	育士6名、用務員1:	占					4	26, 079, 140				
					100	•						- 4	26, 079, 140				
交付金事	事 業 0	り 担 :	当 課 室	石巻市福祉部子ど	も保育課												
				石巻市福祉部子ど													

- (注) (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は,交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の 定量的評価が困難な場合には,成果目標の欄に,定性的な目標を,交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に,定性な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

(8) 成果実績の欄は,評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし,評価年度が到来していない場合は,成果実績の欄は空欄とし,評価年度に別途,報告を行うこと。

なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。

- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果 実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載 すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については,第三者機関等を活用した場合にあっては,第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業 実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

事業評価個家	長 (令和																		
番号		,	昔	置	- 2	名			交	付	金	事	業	の		名	称		
	地域活			m 144 -	- / I A	- 116 - 45 - 41		乙牡店	电地区保育所	連宮事業									
						事業者名													
交 付 金	事 業	実	施	場	折 石巻	市鮎川濱清崎	山181												
交 付 金	事	業	の	概	(令: 少· 中、以 確保:	市立牡鹿地区保育所運営に係る経費のうち、同保育所に勤務する正規職員9名(保育士7名、用務員2名)、10ヶ月分合和3年6月~令和4年3月)の人件費に充当。 少子化や核家族化の進展、共働き世帯の増加や就労時間の多様化など、子育てを取り巻く環境が日々変化していく、いかに安定した保育サービスを提供するかが大きな課題となっています。保育児童の受入拡大のためには保育士の保が大きな課題となりますが、本保育所の運営費へ交付金が充当されることは、保育運営の安定化が図られるととも、、子どもの健全な育成と共働き世帯の就労支援、就労機会拡大など、地域住民の福祉の向上に大きく寄与するもので、。													
交付金事業 i 政 策 · 加					石巻章 第3年 第3年 第4章 第4章 第4章 第4年	交付金事業に関係する主要政策・施策 石巻市総合計画実施計画(令和元年度~令和3年度) 第4章 安心して健やかに暮らせるまち 第3節 安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する 1 子育てを支援する環境を整備する ・延長保育や乳児保育等、保育のさらなる充実のほか、多様な就業状況等の保護者のニーズに対応し、安心して 働ける保育等サービスの充実に努めます。 目標:保育児の充足率100%(令和3年度) ※保育児の充足率:入所者数÷定員×100													
事 業	開	始	年	<u>.</u> j:	变				令和元	年度 1	事業終了	(予定)	年度					令和3年度	
	間の		定		-	市総合計画実			14 140 1 0										
F / //	IHJ V	HA	ΛL	-L F	4 11 2	成果目標		(4 · H		果指標	終期ま			単位		評価年	度	令和3年度	
1						/4×2×11	.1/		保育児の充足率:			成果実績	害	7-12-	%	н і ірші і		4	
					伊杏	児の充足率10	n0/	1				目標値			%			10	
1					木月	元の元と年10	0 /0	- 7	入所者数÷定	員×100	-	7 - 54 - 15			%			4	
ł						1-77-27												4	
ł						評価年度の設定理由													
					毎年月	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。													
						交付金事業の定性的な成果及び評価等													
交付金事業の成果目標及び成果実績					大田 した。	保育所の運営に係る経費のうち、同保育所に勤務する正規職員の人件費(賃金)へ交付金を充当することにより、保育工確保による安全な保育体制の確立と子どもの健全育成、共働き世帯の就労支援、就労機会拡大等を図ることができました。さらに、保育所が地域との交流を図ることにより、子育てを地域で支援する意識の向上にも寄与できました。しかしながら、市全体では待機児童は解消できていないことから、今後も待機児童ゼロに向けた施策展開に努めていきます。成果目標である保育児の充足率の達成度が100%を下回った理由としては、保育工確保状況により定員一杯までの受入れが出来ない場合や申込み児童が少なかったためです。													
							ři	舌動扌	旨標					単位	令和	元年度	令和2年度	令和3年度	
ナムハキギ・	ハンT.∓L. ↓↓	△↓## ™	~ W.>~	毛1 (+) (+)	E /	I ====================================	= = =					活動実績	責	人月		80	70	9	
父付金事業(り活動指	1標及	い古	期夫績		士・用務員の		188 /			-	活動見	入	人月		80	70) 9	
					(雇)	用人数(人)	> 雇用期	闰 (カナナ		F	達成度		%		100	100		
交付金事	業の	終 3	車 挙	書	车		令和元年	连		今和	12年度	エルバス		令和3 ⁴		100	備考	-1 10	
総総	事	/PLN -	業		· · ·		29, 458, 3				3, 408			33, 135,			C, turi		
	•	<i>→</i> .	/15		-		29, 458, 3												
交	寸 金				預		40, 994, i	000		10, 37	70,000			15, 746,	UUU				
		文部																	
		経済					20, 994, 5	00c		18, 37	0,000			15, 746,	000				
交付金事					要														
	契系	的の	目目	的	T	契約のフ	け 法		契	約	0) 7	相 手	方		T		契約金	額	
保育士	 用務 	員人作	牛費		雇	雇用		保育	士7名、用務	員2名							;	33, 135, 109	
							ı	計										33, 135, 109	
	1 業 /	D #	当	課 =	玄 石巻	市福祉部子ど	*、保杏鯉											, 100, 100	
交付金						市福祉部子ど													
文 门 亚 目	F 未 「	ノ 計	ТЩ	1木 三	七十七	中国生日	ひ休月味												

- (注) 事業ごとに作成すること。
 - 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。 (2)
 - 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。 (3)
 - 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該市町村の上位政策・施策とその目 (4)標を記載すること。
 - 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の (6) 定量的評価が困難な場合には,成果目標の欄に,定性的な目標を,交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に,定性な成果及び評価を記 載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄 は空欄とし,評価年度に別途,報告を行うこと。

なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて 報告を行うこと。

- 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果 実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載 すること.
- 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記 載すること。
- 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。 (11)
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業 実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。